



# 中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 柳井洋 編集責任者：広報部会長 山口修 連絡先（0438）63-3888

平成25年敬老会

社会福祉協議会の総力を結集して！

来る9月16日(月)

午後1時から「第21回

中川富岡地区敬老会」が

平川公民館で開催され

ます。この敬老会の開催

にあたって中富地区社

協では、会員がいろいろ

な伝を生かして東奔西

走、早い時期から皆様に喜んでもらえた

アトラクションの出し物を検討してまいりました。

その結果、本年は次の方々に快く承諾

を戴き、6番組を組むことになりました。ま

た、その他に結婚50周年を迎えた夫婦への

記念品贈呈式や来場の最高齢者男女への

記念品贈呈、お楽しみ抽選会等のプログラム

を組んでおります。是非、この来場の上、樂

しいひと時をお過ごし下さい。

## 主な出演者の紹介



### (6) レッズサウンド



天羽高、君津高、木更津東高等の卒業生を中心とした吹奏楽のバンドです。卒業後、仕事の合間に吹奏楽活動することは大変なことです。それだけ音楽が好きということだと思います。今日は皆様のために懐メロを中心演奏します。

○ アトラクションに先立つて、袖ヶ浦社会文化センターで活動する和太鼓のサークルです。全国に存在する伝統的な和太鼓のリズムで許可されたものを編曲し、いろいろな施設等で演奏しています。



## お祝いとお楽しみ抽選会

(1) 中川小学校（4年生全員）  
昨年の中学校吹奏楽部に次いで今年は小学生の可愛い子どもたちの演技からエネルギーを戴きます。

(2) 和太鼓会

根形公民館で活動する和太鼓のサークルです。全国に存在する伝統的な和太鼓のリズムで許可されたものを編曲し、いろいろな施設等で演奏しています。

### (3) 地元有志によるカラオケ

毎年恒例になっております。中富地区のカラオケ同好会やのじ自慢の方々が熱唱します。

### (4) 木更津よさこいソーラン

昨年に続いての出演です。本年は、一般の方々の飛び入りで踊りの輪を広げ盛り上げたいと思います。

### (5) 佐々木淡若さん



過去に何回か出演して戴いておりますのでおなじみと思います。民謡は日本一、歌謡曲もシニアカラオケ大会で千葉県一になった方です。民謡、演歌とすばらしい喉を披露します。

## お花見食会を開催！



恒例の「お花見食会」が去る6月20日（木）に老人福祉会館で小雨の中実施されました。今年は、昨年よりも一週間遅く、袖ヶ浦公園の菖蒲も心配しましたが、最後の花が花見客に彩りを添えてくれました。菖蒲を見学後、市役所健康推進課保健師による講話を交えながらの健康体操に熱心に参加していただきました。

お食いは、給食部会の方々の作った手作り弁当を頂きながら、参加者の皆さんお弁当の「味付けが良い」「とてもおいしい」と感想を話していました。

### ○

① 金婚式を迎えた夫婦を祝いました。  
② 来場者の中から最高齢の男女の方々に記念品の贈呈をいたしました。  
アトラクション終了後例年通り、お楽しみ抽選会があります。素敵な景品が当たります。

（高齢者部会 若林英夫）

お知らせ 昨年から会場を富岡分館から平川公民館に移して実施していますが、これは参加者が300名を超すようになり、富岡分館では定員オーバーとなり消防法に違反するためです。ご理解をお願いいたします。



福祉協議会より敬老の日のお祝いをいたします。

## 専門部会だより

### 給食部会

給食部会は、給食サービス事業の調査・研究とその実施への協力等を目的として設置され、現在の部会員は22名です。給食サービスは地区内の満70歳以上のひとり暮らしの高齢者で給食サービスを希望される方に、年9回の給食を行っています。調理は部会員が3班に分かれ、月交代で担当しております。なお、配食は地区的民生委員が行っています。

### 給食班紹介

(上宿班) 大沢憲枝 葛田紀代子 牧野喜美代 宮石フミエ 佐久間しげ子 田中多恵子 切替明代 千葉幸子 (小路班) 龍井いし 佐久間ふで子 田中多恵子 白壁礼子 木部順子 田中佐智子 若林あい子 (富岡班) 近藤富美子 永澤トシ子 坂下光子 大島省子 小林澄代 上嶋茂代 田島典子

宮石部会長の話 「地域の方の援助もあり、お揃いのエプロンを自分たちで作ることになり、三日間かけて作りました。敬老会にお披露目です、どうぞお楽しみこ」



6月のメニュー



給食部会では、昨年に  
続いて今年も「いきいき料理教室」を開催します。  
是非参加して下さい。

続いて今年も「いきいき

## 地域のまちづくり

### 花いっぱい活動

中富ふれあいの会は6月29日(土)に花苗の植栽を行いました。

平川公民館、JR東横田駅、富岡分館にマリーゴールドを植え付け、

すでに花をつけた苗は、周辺に香りを漂わせておりました。

中富ふれあいの会は中富地区各団体で構成され、花の植栽は青少年健全育成の啓発と地域の美化活動を兼ねて、毎年実施されています。

関喜一さん(百目木) 昨年の敬老会で

来場者のうちの最高齢者となつた関喜一さんは「元気な地域の人」として紹介します。

関さんは、大正生まれの92歳になりました。百目木在住で農作業の手伝いや、地域の祭り太鼓の指導に忙しい毎日を過ごしておられます。

東横田駅から馬来田駅に向かう久留里街道の道路脇にきれいなお花畠が続いている通る人々の心を和ませています。これは、「百目木環境保全会」の農業者と非農業者の皆さんのが協力し花の植え替えと草取りや水やり等の事業で作った花壇です。

高橋会長の話 「花壇作りは、農業者と非農業者が



高橋会長の話 「花壇作りは、農業者と非農業者が

協力し、高齢者から子供たちまで多くの人が参加し、活発なコミュニケーションの場としても有意義なものとなっています。これからも農村の環境保全と地域のコミュニティの向上に役立つ活動を実施したいと考えております。」

### 元気な地域の「ひと」

来場者のうちの最高齢者となつた関喜一さんは「元気な地域の人」として紹介します。

関さんは、大正生まれの92歳になりました。百目木在住で農作業の手伝いや、地域の祭り太鼓の指導に忙しい毎日を過ごしておられます。



過日自宅に伺うと、昨今の少子高齢化が国の行く末に影響すると言われるが、同時に認知症の患者も増加しています。介護要員が増加せざるを得なくなると心配していました。認知症にならないためには、肉より魚と野菜の食事をよくかんで、腹八分、時にはカレーを食べ、赤ワインを少し飲んで、人と楽しく交わり、大いに笑って週3回は汗をかきました。向こうに生きることと伺いました。世界遺産となつた富士山について語っていました。ちょっと耳は遠くなつてはいるもののまだ現役で若き日の余燐まだ冷めやらずまだ赤く燃えていました。